情報公開文書

2023年1月1日～2026年7月31日の間に札幌医科大学附属病院およびマロニエ通クリニックで頭痛、てんかん、脳血管障害、パーキンソン病の治療を受けられた方へ

1. 研究課題名

脳神経外科診療における亜鉛欠乏の実態と、病態に及ぼす影響についての検討

2. 研究の目的および意義

脳神経外科疾患の治療において、微量元素である亜鉛欠乏が病態や予後に与える影響は十分に解明されていません。本研究は、当院において過去に治療を受けられた患者さんの診療データを解析し、低亜鉛血症が頭痛、てんかん、認知症等の疾患の経過や予後に与えた影響、関連性を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、今後の脳神経外科疾患におけるより適切な栄養管理や治療戦略の発展に寄与する意義があります。

3. 研究の方法（対象となる患者さん・期間・利用する情報）

- **対象となる方**：2023年1月1日～2026年7月31日までの間に、札幌医科大学附属病院およびマロニエ通　クリニック　（脳神経外科外来）において頭痛、てんかん、脳血管障害、パーキンソン病で外来・治療を受けた患者さん。診断時に15歳以上の方のみを対象とします。
- **利用する情報（項目）**：
    - 患者背景（年齢、性別、診断名、投薬内容（投薬数））
    - 検査データ（血清亜鉛値、ヘモグロビン値、アルブミン値、eGFR値）
    - 基礎疾患、妊娠の有無
    - 臨床症状の有無
    - 亜鉛欠乏症臨床症状の有無

・情報の利用開始予定日

情報の利用を開始する予定日は、2026年12月1日です。

4. 共同研究の体制（研究組織）

本研究は、以下の体制で実施される共同研究です。

研究代表機関：札幌医科大学附属病院

研究責任者：札幌医科大学医学部　脳神経外科学講座教授　三國　信啓

共同研究機関:マロニエ通　クリニック
研究責任者:院長 越智　さと子

5. 情報の保存、移送および二次利用について収集された診療データは、氏名やカルテ番号などの個人が特定できる情報を完全に削除し、代わりに新たな符号を付して管理します。共同研究機関で得られたデータは、パスワードによって厳重に保護された電子媒体(または安全な通信環境)を用いて、共同解析のために札幌医科大学医学部脳神経外科学講座へ提供されます。提供後も両施設において強固なセキュリティのもとで厳重に保管されます。
情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称:札幌医科大学附属病院　病院長　渡辺　敦

なお、この研究に使用した情報を将来の別の研究に利用する可能性はありません。

6. 研究への協力を拒否したい場合(オプトアウト)
ご自身の診療データが本研究に使用されることを希望されない場合は、以下の問い合わせ窓口までお申し出ください。お申し出をいただいた場合、その方のデータは研究解析から除外いたします。なお、研究協力を拒否された場合でも、今後の診療等において一切の不利益を被ることはありません。
拒否受付期限:2026 年 11 月 30 日

7. 問い合わせ・苦情等の連絡先
札幌医科大学附属病院　脳神経外科　助教　菅野　彩
連絡先
平日日中(9 時 00 分～14 時 00 分) 脳神経外科学講座　電話 011-611-2111(内線　33510)
夜間・休日　8 階北病棟　電話 011-611-2111(内線　33580)